



「Rue Favart」

#Ryu favar / Ebisu-TOKYO / text: Nagano Hiroko

恵比寿ガーデンプレイス沿いの通りにこぢんまりと佇む一軒家。それが不思議な雰囲気を持つカフェ、Rue Favartだ。1階はキッチンとテイクアウトカウンター、2階と3階はカフェスペースになっており、階段を上っていくと壁一面に描かれた真っ赤なケシの花々が迎えてくれる。3階は、流れるアンビエントの音と赤い壁に描かれた

虫、店のあちこちに置かれているオーナー自作のオブジェやランプに、屋根裏部屋で内緒のパーティでもしているような気分させてくれる。

きっかけは「一軒家で何かやりたい」という思いつきだった。恵比寿にぴったりの物件があり、オープンしたのは3年前。店長の南部礼一郎氏は、いろんなものを吸収するため、ニューヨーク、パリ、ハノイなど世界各国の都市を訪れた。同氏は「店の名前は、パリにある目立たない通りの名前です。店のオープン当時にはあまり多くのお店が

なかったので、人が集まる道にしたいという思いを込めてつけました」と語る。

もともとこの店は2階のみで、3階はお風呂とトイレ付きの普通の畳部屋だったという。1年半前、オーナーの中川忠義氏、スタッフ、美術学校に通う常連客などが一緒になって壁に絵を塗り、3階をカフェに改造した。ある店員は「バイトは時間の切り売りだと思っていたけど、ここは違います。全部手作りだから自分達で建てた家にいる気がして、バイトだとは思っていません」と語る。

インテリアだけではなく、店を出される



カフェボールからアイデアが生まれる

photo: Nakamura Tohru (mermaid)

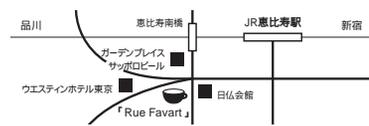
料理やケーキもすべて手作り。パッションフルーツなど果物や野菜の一部は奄美や沖縄の農家から直接仕入れており、コーヒー豆はブラジルにある木を契約して豆を購入するという徹底ぶりだ。同氏は「料理でもサービスでも何かを模倣するというのではなく、今までの体験から培ったその人にしか出せない感性を表現したいですね。時間が経つにつれて、見たもの聞いたものが自分のなかで熟成されて個性になります。そうした個性溢れるスタッフ全員の力が集まったのがこのカフェだと思います」と語る。



居心地のいいアンティークソファのある3階からは、恵比寿ガーデンプレスの緑が見渡せる。



コーヒー(320円)、カプチーノ(500円)ケーキ類のほか、パスタ類やサンドウィッチなどメニューも充実。



住所：渋谷区恵比寿3-28-12
TEL：03-5421-0688
営業時間：10:00am ~ 2:00am(無休)



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp